

部門の登録と変更について

シンシステムデザイン <http://www.ssdesign.co.jp>

新しく部門を登録する操作

初期設定メニュー ⇒ 部門登録

新規にデータフォルダを作成する場合は、このような画面になります。

- ひな形科目を選びます。
- 会計の部門名と集計区分を入れます。
- 部門の設定が終わったら、“実行” ボタンを押してください。

勘定科目のひな型選択

収支仕訳・貸借型

収支仕訳・報告型

複式仕訳・貸借型

複式仕訳・報告型

⇒

雛形科目の選択は新しくデータフォルダを作成した時のみ有効です。新規に作成し直したいときは、データフォルダを削除してください。

実行

キャンセル

集計区分は通常1としますが、2にすると、「小計部門」になります。

code	会計の名称	集計区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

部門集計区分についての詳細な説明はここをダブルクリック

【部門移動、挿入、削除】
安易に行わないでください。
止もを得ず行う場合は、バックアップコピーを取って行ってください。

部門挿入

部門削除

部門移動

部門移動の実行

【補足事項】

- ・ 集計できる部門数は最大 20 部門です。
- ・ 部門の集計階層区分は最大 4 階層まで出来ます。

勘定科目の選択

勘定科目のひな型選択

- 収支仕訳・貸借型
- 収支仕訳・報告型
- 複式仕訳・貸借型
- 複式仕訳・報告型

仕訳方式と決算書の形式を選択してください。

収支仕訳

固定資産や固定負債に係る仕訳において、貸借対照表に計上するために切替仕訳が必要になります。

例) 固定資産取得支出 / 現金 (収支仕訳)
器具及び備品 / 固定資産見返勘定 (切替仕訳)

複式仕訳

複式簿記と同じ仕訳をすると、貸借対照表と収支計算書に自動的に計上されます。

例) 器具及び備品 / 現金

報告書形式

○○収入
当年度収入合計 ①
◇◇支出
当年度支出合計 ②
当年度収支差額 ③ = ① - ②
前年度繰越額 ④
次年度繰越額 ③ + ④

貸借形式

○○収入
当年度収入合計 ①
前年度繰越額 ②
収入合計 ① + ②

◇◇支出
当年度支出合計 ③
次年度繰越額 ④ = ① + ② - ③
収入合計 ③ + ④

設定例 1 階層集計が不要な場合

もっとも簡単な設定例です。

- 下記例のように会計の部門名を入れます。
- 集計区分は、1を入れます。

code	会計の名称	集計区分
▶ 1	一般会計	1
2	闘争会計	1
3	会館運営会計	1
4		

【補足事項】

- ・ 会計全体の“合計”の部門名は表示されていませんが、全体の合計部門は自動的に設定されます。以下の設定例でも同様です。

設定例 2 部門計がある場合

一般会計と特別会計の部門計を取りたい場合は、次のような設定をしてください。

集計区分 2 の部門に下部の部門が合計されます。

code	会計の名称	集計区分
▶ 1	一般会計	2
2	〇〇会計	1
3	□□会計	1
4	◇◇会計	1
5	特別会計	2
6	△△会計	1
7	××会計	1
8		

部門登録や勘定科目の選択をやり直したい場合

勘定科目の選択や部門登録をやり直したい場合は、次のようにしてください。

仕訳伝票が無い段階

データパス名を相対パス名にしている場合は、会計ソフトのフォルダの中に次のようなデータフォルダがあります。

この例のように、該当するフォルダを削除すると、最初から部門登録が出来るようになります。



2014のフォルダはあくまでもフォルダ名の例です。フォルダを削除する場合は実データのフォルダを削除しないように注意してください。

既に仕訳がある場合

既に仕訳がある場合は、部門の挿入・削除・移動などで修正してください。

また、勘定科目選択は出来ませんので、”勘定科目設定”の画面で、変更してください。

運用途中での部門の変更

運用途中での部門挿入、削除、入れ替えは、下記の操作を行ってください。この操作を行う前に必ずバックアップコピーを取ってから行ってください。

部門の挿入

挿入したい位置の一つ下にカーソルポインタを移動させて、「部門挿入」のボタンを押してください。

部門削除

削除したい部門の位置にカーソルポインタを移動させて、「部門削除」のボタンを押してください。

部門の入れ替え

入れ替えをしたい部門コードを入力して、「部門移動の実行」ボタンを押してください。

